

# 東日本大震災で消滅した松島湾の 藻場再生活動

イベントの 延べ参加者数	199人
助成活動がメディア に掲載された回数	4回
活動の全体目標 に対する達成度	70%



本庄早稲田高校 作業体験と勉強会（流れ藻の投入）

## ◆成果と工夫したポイント

- 成果** 地元漁業者からは、震災前には漁業生産の邪魔になると考えていたアマモ場が、生態系の保全と、漁業生産の面からも必要なものであったという意見が多く出され、理解の普及とともに活動の重要性が強く感じられました。
- 工夫** アマモの生育・活着状況や自然要因により成果が得られない場合、代わりに活動を実施し基礎知見としました。

## 課題

震災津波で壊滅的な被害を受けた、松島湾のアマモ場の再生を図ることで生態系を復活させ、基幹産業である水産業や観光業の復興と持続利用可能な地域社会の創造を目指します。

## 活動内容

- 1) 震災以後の藻場分布の変遷調査及び環境・生態系調査(学術的活動)
- 2) アマモ場造成活動(藻場再生実践活動)
- 3) 学習会、セミナーなど(広報活動)  
活動のために関係者への事前説明や他団体との協働化・情報交換



洋上フロート内に投入したアマモ（流れ藻）

によって、アマモ場に対する地元の理解が深まり、漁協を中心に藻場再生活動の重要性を広めることができました。また、行政に資料を提供することで、施策面にも役立てることができたと思います。

## 今後の課題

植栽後のアマモについては、モニタリングにより生育状況を把握する必要がありますが、松島湾では濁りがひどく確認ができませんでした。これの対応策を検討中しており、定量的な報告ができるよう工夫を継続しています。